DX・デジタル活用支援

～行動観察やITの知見を用いて、人や現場の実態をもとにDXやデジタル活用を支援します～

オージス総研

オージス総研

大規模インフラと顧客基盤を支えるIT

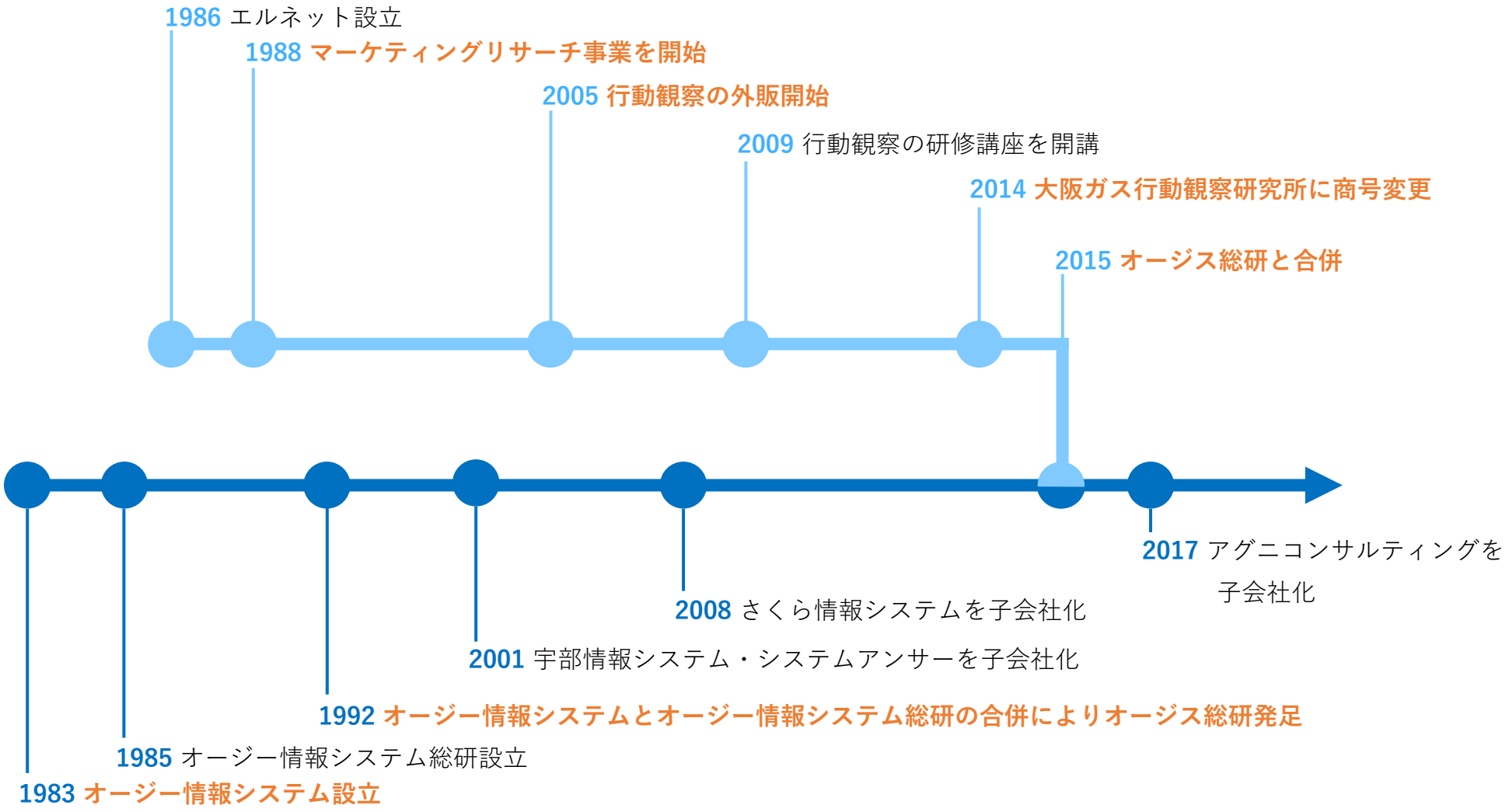
＋

行動観察とマーケティングリサーチの実績

企業名
株式会社オージス総研

設立
1983年6月29日

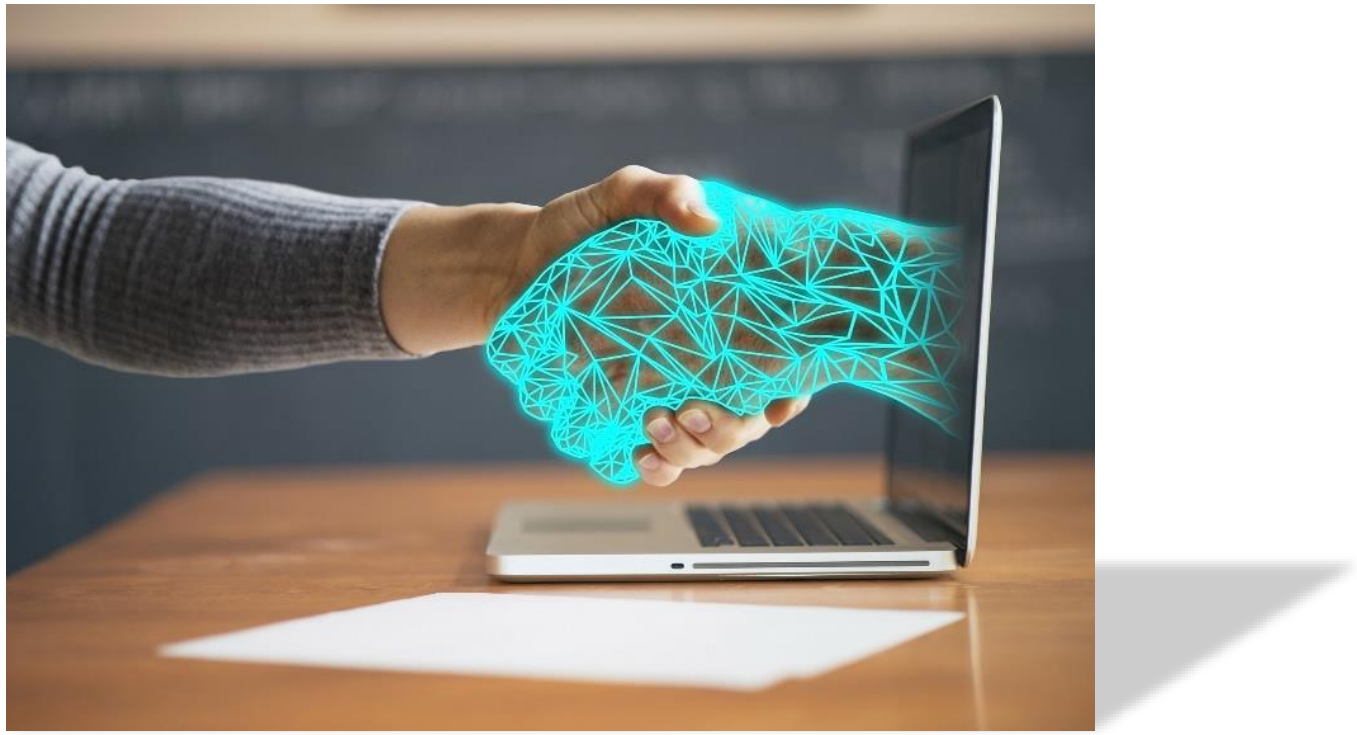
代表
吉村　和彦



Copyright © OGIS-RI Co.,Ltd. All rights reserved.

1. デジタルトランスフォーメーション(DX)とは？

企業が外部エコシステム(顧客、市場)の破壊的な変化に対応しつつ、内部エコシステム(組織、文化、従業員)の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム(クラウド、モビリティ、ビッグデータ／アナリティクス、ソーシャル技術)を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して、ネットとリアルの両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立することです。



出典)Japan IT Market 2018 Top 10 Predictions: デジタルネイティブ企業への変革 - DXエコノミーにおいてイノベーションを飛躍的に拡大せよ,IDC Japan プレスリリース, 2017年12月14日

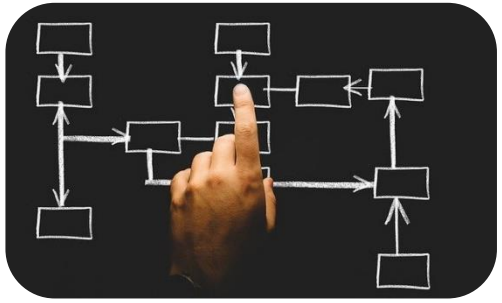
Copyright © OGIS-RI Co.,Ltd. All rights reserved.

オージス総研

DXの４つの目的

効率化と生産性の向上

デジタル技術を活用することで、業務プロセスの自動化や効率化が可能となります。例えば、人工知能やロボティクスを導入することで、繰り返しのタスクを自動化し、人材をより戦略的な業務に注力させることができます。



顧客エクスペリエンスの向上

DXは、顧客との接点やサービス提供方法を変革する機会を提供します。デジタルチャネルを活用したパーソナライズされた体験や、便利で迅速なサービス提供が可能となります。顧客のニーズに応えるために、オムニチャネル戦略やデジタルマーケティングが重要な要素となります。

新たなビジネスモデルの創造

DXは、既存のビジネスモデルを見直し、新たなビジネス機会を探求するための手段となります。デジタル技術の進歩により、従来では考えられなかった市場や顧客層への進出が可能となります。例えば、サブスクリプションモデルやシェアリングエコノミーなどのビジネスが注目されています。

データに基づく意思決定

DXは、ビッグデータやアナリティクスの活用を促進します。デジタル環境では膨大なデータが生成されるため、それを収集・分析し、事業戦略や意思決定の根拠とすることが重要です。データドリブンな経営手法や予測分析により、ビジネスの洞察力と競争力を高めることができます。

本資料にご興味をお持ちいただけましたら、
フルバージョンのダウンロードをお申し込みください。
一度お申し込みいただくと、行動観察に関連した掲載資料を
すべてダウンロードいただけます。

お申し込み

「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～, 2018年9月7日

Copyright © OGIS-RI Co.,Ltd. All rights reserved.